



東北大学

平成 22 年 4 月 9 日

報道機関 各位

東 北 大 学

都道府県別の男女平等度指標を測定：ランキングを公表

-宮城県は27位。九州男児やカカア天下の効果は?-

東北大学大学院経済学研究科吉田 浩教授ら東北大学グローバルCOE（グローバル時代の男女共同参画と多文化共生）の研究グループは、日本の全都道府県の男女平等度指標を測定し、ランキングを公表しました。それによれば、おおむね中部、関西、中国・四国地方で平等度が高く、九州、東北、北海道は平等度指標の低いことがわかりました。このうち、九州地方では「九州男児」という言葉の通り女性知事の熊本県を除き、平等度が下位の件が続いています。その一方で、「カカア天下」と呼ばれる上州地方では必ずしも指標が高くないこともわかりました。宮城県は全国の中央付近の27位でした。

この研究結果は、4月10日午前に東北大学川内キャンパスで行われるGCOE桜セミナーで詳しく報告されます。

【研究内容】

本研究は、子育て、女性の教育、男女人口、女性の労働参加、女性の給与、女性の政治参加の6つの指標を全都道府県別に収集し、北欧の男女共同参画の先進国、ノルウェー統計局が公表している男女平等度指数の推計手法にもとづき、スコアを求めるという形で計算されています。今回はそのスコアに基づき、全国の都道府県をランキングしたものです。全国第1順位が鳥取、次いで長野、京都、岡山、香川が同順で2位、そして東京と沖縄が同順でそれに続くという結果が得られています。おおむね中部、関西、中国・四国地方で平等度が高く、九州、東北、北海道は平等度指標の低いことがわかりました。

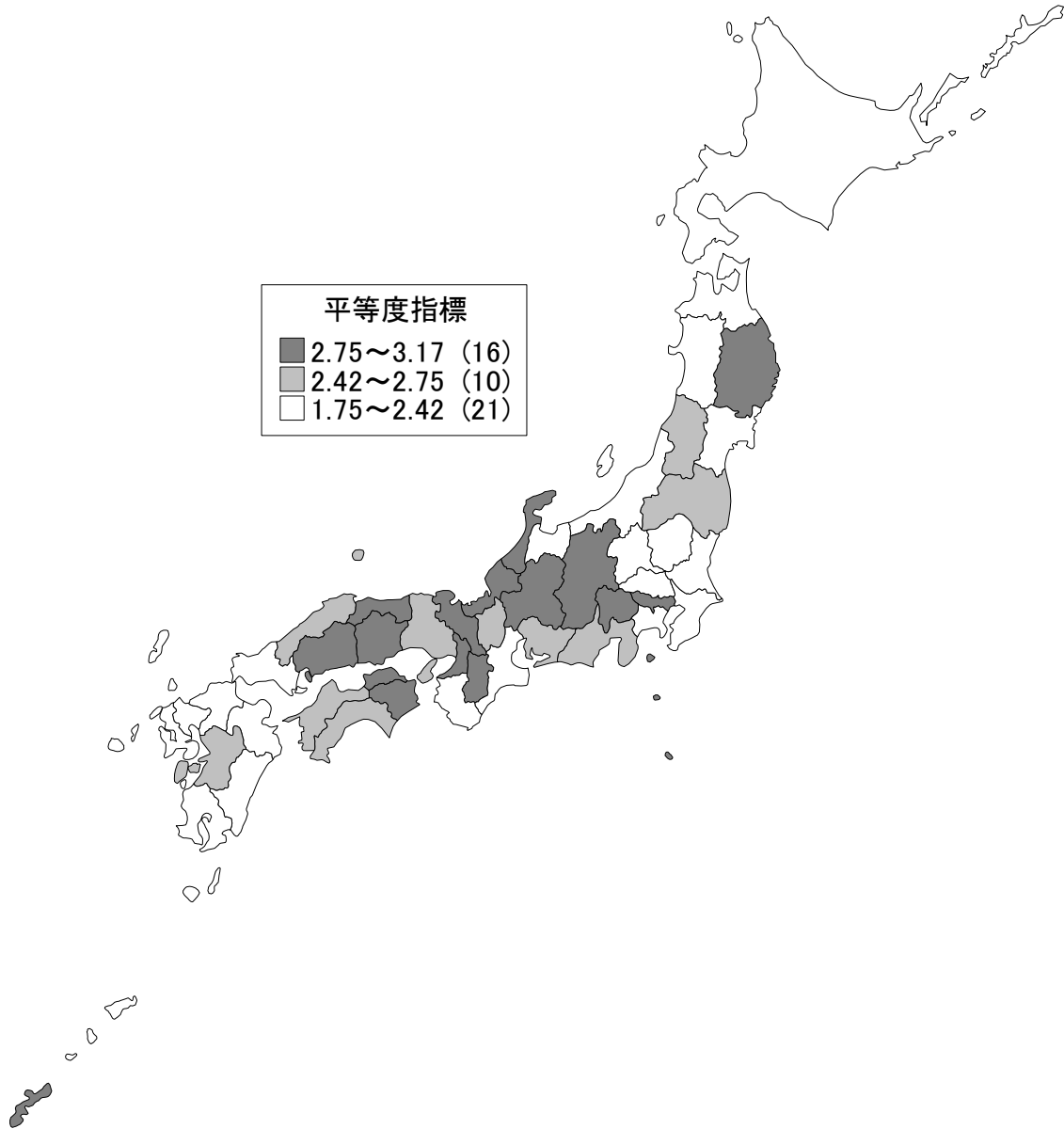
日本の男女平等度指標については、日本全部を1つの指標で代表させ、国際比較をしたものはこれまでも公表されてきました。しかし、今回、都道府県別に男女共同参画の度合いを測定したことで、男女共同参画の進み具合が地域別にはっきりと把握できるだけでなく、どの地域のどの指標を改善することが優先であるかという政策の効率性の観点や、同じ日本のもとで男女共同参画の実現に地域格差があってはならないという公平性の観点からも有効に活用できる統計資料であると言えます。

表1 都道府県別の男女平等度指標

	1	2	2b	3	4	4b	5	5b	6		
	2006	2000	2000	2006	2005	2005	2007	2007	2007		
	義務教育 前教育修 了率	高等教育 (女性/男 性)	女性の高等教 育卒業者率	人口性比 (15~64 歳)	労働参加率 (女性/男 性)	女性労働参加 率	相対給与(女 性/男性)	女性給 与額	女性議 員の割 合		ラン ク
	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	総合	順
北海道	1	1	2	4	1	1	1	1	3	1.917	46
青森	1	2	1	3	3	3	4	2	1	2.083	42
岩手	1	4	1	3	3	4	4	2	4	2.833	11
宮城	2	2	2	2	2	2	3	4	3	2.417	27
秋田	1	2	1	3	1	2	3	3	3	2.167	37
山形	1	2	1	2	4	4	4	4	3	2.583	19
福島	2	3	1	2	3	3	4	2	4	2.667	17
茨城	2	2	2	1	1	2	3	4	3	2.167	37
栃木	3	2	2	1	3	3	2	2	2	2.167	37
群馬	4	3	3	1	2	3	1	2	2	2.333	30
埼玉	2	1	4	1	1	2	1	2	2	1.750	47
千葉	2	1	4	1	1	2	3	3	3	2.167	37
東京	4	3	4	1	3	1	3	4	4	3.000	6
神奈川	1	2	4	1	1	1	2	3	4	2.083	42
新潟	2	1	1	2	3	3	4	4	2	2.333	30
富山	4	1	3	2	4	4	1	2	1	2.417	27
石川	4	2	3	2	4	4	2	4	2	2.917	8
福井	4	1	2	2	4	4	4	4	1	2.750	16
山梨	1	4	3	1	3	4	4	4	4	2.833	11
長野	3	1	3	2	4	4	3	4	4	3.083	2
岐阜	4	2	3	3	3	4	1	3	2	2.833	11
静岡	3	1	3	1	4	4	2	3	3	2.583	19
愛知	3	3	4	1	3	4	1	3	2	2.500	24
三重	4	3	2	2	2	3	1	2	1	2.250	34
滋賀	3	3	4	1	2	3	1	1	4	2.500	24
京都	4	4	4	3	2	2	1	2	4	3.083	2
大阪	4	4	4	3	1	1	2	4	2	2.833	11
兵庫	2	4	4	4	1	1	1	1	4	2.667	17
奈良	3	4	4	4	1	1	1	1	4	2.833	11
和歌山	2	3	2	4	1	1	3	2	1	2.167	37
鳥取	3	3	2	2	4	4	4	3	4	3.167	1
島根	3	3	1	2	4	3	3	3	2	2.583	19
岡山	3	4	4	3	2	2	3	4	3	3.083	2
広島	3	4	4	3	2	2	2	3	3	2.917	8
山口	2	3	2	3	2	2	2	2	3	2.417	27
徳島	4	4	3	3	3	1	4	4	1	2.917	8
香川	4	3	3	3	3	3	2	3	3	3.083	2
愛媛	3	4	3	4	1	1	2	1	2	2.500	24
高知	2	4	2	3	4	3	4	2	1	2.583	19
福岡	2	2	3	4	2	1	2	3	1	2.250	34
佐賀	2	2	1	4	4	4	2	1	1	2.333	30
長崎	1	3	1	4	2	2	3	1	3	2.333	30
熊本	1	1	2	4	4	3	4	3	2	2.583	19
大分	3	2	2	4	2	2	2	1	1	2.250	34
宮崎	1	1	1	4	4	3	3	1	1	2.083	42
鹿児島	1	1	1	4	2	2	3	1	2	2.000	45
沖縄	4	4	3	2	3	1	4	1	4	3.000	6

出所：吉田 浩(2010)「日本における男女平等度指標の開発—ノルウェー統計局の男女平等度指標を参考に—」GEMC journal, No.3, pp.82-92, March, 2010.

図1 都道府県別の男女平等度指標マッピング



出所：吉田 浩(2010) 「日本における男女平等度指標の開発—ノルウェー統計局の男女平等度指標を参考に—」 GEMC journal, No.3, pp.82-92, March, 2010.

【問合せ先】

東北大学経済学研究科 教授 吉田 浩 hyoshida@econ.tohoku.ac.jp

TEL: 022-795-6292

東北大学法学研究科グローバルCOE事務局(桜セミナー)

TEL: 022-795-3740, 3163

<http://www.law.tohoku.ac.jp/gcoe/>